

会 議 議 事 録

| | |
|--------|---|
| 1 会議名 | 第3回長岡市総合計画策定委員会 |
| 2 開催日時 | 平成27年4月15日（水曜日） 午後1時30分から午後3時15分まで |
| 3 開催場所 | アオーレ長岡 東棟4階 大会議室 |
| 4 出席者名 | <p>(委 員)</p> <p>丸山 智 委員長 水流 潤太郎 副委員長</p> <p>阿部 里奈 委員 有本 真由美 委員 遠藤 公一 委員</p> <p>大井 盛久 委員 太田 裕 委員 神林 茂 委員</p> <p>澤田 雅浩 委員 関 泰明 委員 高野 礼子 委員</p> <p>年友 要子 委員 二澤 和夫 委員 羽賀 友信 委員</p> <p>樋熊 憲子 委員 古川 貞子 委員 星野 正子 委員</p> <p>本田 史朗 委員 三井田 由香 委員 村山 道子 委員</p> <p>結城 和廣 委員</p> <p>(事務局)</p> <p>長岡市市長政策室 近藤室長</p> <p>長岡市政策企画課 中村課長 鈴木課長補佐</p> <p style="padding-left: 150px;">菊池係長 渡辺主任 池田主任</p> <p>(傍聴人等)</p> <p>傍聴人 4名</p> <p>報道機関 5社6名</p> |
| 5 欠席者名 | <p>(委 員)</p> <p>中出 文平 副委員長</p> <p>鯉江 康正 委員 樋口 勝博 委員 鷲尾 達雄 委員</p> |
| 6 議題 | <p>(1)長岡市総合計画後期基本計画の評価について</p> <p>(2)アンケートの実施について</p> <p>(3)将来像等の検討について</p> <p>(4)その他</p> |

| | |
|-----------|---|
| 7 会議結果の概要 | 第1回、第2回策定委員会の経緯を踏まえ、総合計画における将来像等の検討を中心として、総合計画及び地方版総合戦略の位置づけ、後期基本計画の評価および総合計画アンケート調査の実施案について意見交換が行われた。 |
| 8 会議資料 | <p>第3回次第</p> <p>資料1 後期基本計画の評価資料（平成27年1月末現在）</p> <p>資料2 総合計画アンケート調査 実施案</p> <p>資料3 次期総合計画の体系（方向性案）</p> <p>参考資料 第3回委員会に向けた事前意見の集約</p> <p>当日資料 総合計画と地方版総合戦略について</p> |
| 9 審議の内容 | |
| 委員長 | それでは議事の「(1) 第1回長岡市総合計画後期基本計画の評価」について、事務局より説明いたします。 |
| 政策企画課長 | (資料1に基づき説明) |
| 委員長 | 説明が終わりましたが、何かご質問はございますか。 |
| 委員 | <p>基準値についてはいろいろな要因が絡んでいて、正確なところが出てこない場合もあると説明を受けたのですが、目標についてはどういった観点から確認するのか。例えば、希望的観測でこのくらいになっていけばいいというようにいれているのか、それともそこに掲げられている目指す姿もしくは施策の柱を考えているのか、なかなか抽象的なものは指標化するのは難しいので、どういった値で目標設定しているのかは、結構大きいと思います。目標の設定の仕方によって、実際のところが見えてこない中で、ひとまず、こういった結果でしたということになると次に繋がらない。そのところはどうか。</p> <p>また、もう1点ありまして、安全・安心のところの災害に強いまちづくりの推進のところ、再掲というのが1つあります。これが教育のところでも耐震化というのが出ていて、市民目線でみると教育の耐震化が本当にこういうところに繋がっているのかという、率直な感想を持つのですが、再掲と出ているところの意味合いを教えてくださいたいです。</p> |
| 政策企画課長 | まず1点目、目標の置き方というところですが、委員が言われたとおり、数字で置けるケースと置けないケースがあるかと思いますが。目標が置けるものについては、この総合計画策定に関係する各部局が、その計画を策定する |

| | |
|--------|---|
| | <p>作業を含めて部会等での議論を経て、整合をとった上で目標値を置いています。目標値が置けないようなケースについては、満足度調査等のいわゆるアンケートを行った上で、それを指標の達成度に反映して達成度合いを計るという作業をしています。その目標値自体が正しいかどうか、置き方が適切だったかどうかについては、一つ一つの各基本施策を担当してます部署もしくはその部署が関係者の方と議論した上でできている数字もありますので、この場で当時の目標値として適切だったかどうかは、ご説明できないというところで大変申し訳ございません。ただし、この評価において文章で記述しておりますが、担当部局の思いであったり、関係者の考えであったり、そういうところを踏まえて、この現在の計画の達成度合いを整理する作業は現状を通してやっておりますので、文章化されているところを読んでいただければご理解いただければと考えております。</p> <p>次に全体の中の再掲、一例で耐震化というご質問がありましたが、計画全体を通したときにある程度分野ごとにまとまった、いわゆる行政分野で見た計画が現在の計画です。しかし、テーマによっては、ご指摘いただいた学校における耐震化の問題のように、教育分野の課題であり、いわゆる災害対応における危機管理の課題でもあるというような場合もあるため、再掲というくくりを使っています。</p> <p>人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現というところで、子どもの自信と夢をはぐくみ豊かな心を育てるまちという、この施策の柱から施策の名称というところまで考えたときに、耐震化を進めると、子どもの自信と夢をはぐくむことに繋がっているのかなという思いがしたものですから。再掲に出ていなかったら、流したのかもしれないですけど、再掲の方に置いた方が心地いいかなと思い、そこのところはどうなのかなと思ったわけです。</p> <p>再掲の表記の仕方ですが、形式的なことでは申し訳ないのですが、最初に出てきた方をまず基本において、繰り返し出てきた方を再掲という表現をとっております。</p> <p>あとは、大きい柱のくくりの中に、イメージが湧きづらいのではないかなというような議論は、当時の計画策定時において色々と議論はされていると思います。ですが、特に教育と災害対応という観点から見たときに、学校の現場によってそのハード面というおろそかにできない部分と、中越地震での経験から多くの小中学校が避難所指定を受けていますので、災害対応における耐震化と繰り返し出すことで、整理したと思われれます。</p> |
| 委員 | |
| 政策企画課長 | |

| | |
|--------|--|
| 委員 | <p>今日のこの評価の資料については、PDCA サイクルを回すことや現行計画の評価をして、その結果を新しく作る計画に反映していくことが大切だという意見を受けて、作っていただいたのではないかと思います。これをどう活かすのでしょうか。議事の（３）将来像等の検討についてのところで、今後の次期計画をどのような構成にするのかといった論点もあるようですので、そこで議論されるのかもしれませんが、この今日の資料１の評価についてPDCA サイクルを回していくということについて、どのように活用されるつもりなのか、あるいは我々としてどのように受け止めて議論していったらいいのか、その点を事務局に聞きたいと思います。</p> |
| 政策企画課長 | <p>まず市役所内部でどのように活かすかということについてですが、まだ１年残っている中で、現行計画のこの評価については、先程ご説明したとおり、まだ作業途中という状況です。PDCA サイクルの市役所の各部署の活かし方としてみれば、これは全部まとまってからということではなく、毎年度の予算編成あるいは主要事業策定時において、一つ一つの施策のいわゆる基本施策の状況を勘案しながら各部署展開しておりますので、実務的には反映しています。</p> <p>もう１つのこの委員会における次期総合計画における議論の中において、どのようにこの評価の部分を活用していくかについては、先程言ったとおり、現在の計画の最終的な評価のまとめあげる時期と、この委員会における次期総合計画の議論の時系列でいうと並行してやっていくことになるかと思えます。本日は議事の（３）につきましては、まだ入り口の部分について、各委員からの忌憚のない意見を受けて議論していただきたいと思えます。それを受けて、第４回以降、素案的な部分から提示させていただきたいと思えます。その際には本日お出ししている資料の特にこれまでの成果という６本の大きい柱に対して、今後の方向性というような課題認識等を文章化している部分がございますので、各委員の意見をいただく際にも参考にしていただければと思います。また、より具体的な構想をまとめていく中で、今後、並行的な作業の中でも現時点で活かしていきたいと考えております。以上です。</p> |
| 委員長 | <p>続きまして議事の（２）のアンケートの実施について、事務局より説明したいと思います。</p> |
| 政策企画課長 | <p>（資料２に基づき説明）</p> |

| | |
|--------|--|
| 委員長 | <p>それでは今程、ご説明いたしました件について、ご質問がございましたらご発言ください。お願いします。</p> |
| 委員 | <p>成果指標として利用する市民満足度、関心度等ということを確認したいということですが、それを分析してみるマトリックス、例えば、都市部と農山村部とか、合併する前の長岡市と合併した地域とか、そういった集計方法によって見えてくるものもあると思います。</p> <p>このアンケートによって満足度と関心度の何を求めているのか、やはり、ある程度は方向性を持ってやる必要があると思います。そうすると、ただ20代、30代、40代という機械的な中で分けて見えるものと、非常に意図的にマトリックスを作った場合では、見たいものが違ってくるとは思います、そういった点についてはどうお考えになられているのでしょうか。</p> |
| 政策企画課長 | <p>委員のご指摘のとおり、アンケート実施を進める際には、今回は無作為抽出ですが、聞く相手によっては出てくる答えが意味あるもの、意味ないものになると思っています。例えば、施設を利用している方に満足度をお聞きする場合、ある程度正しい回答が得られると思いますが、普段利用されていない方あるいは関心のない方にお聞きするのは、必要な情報になるのかというところもあります。そういうところを注意しなければならないというのがこのアンケート調査と認識しております。</p> <p>あと1ヵ月半ぐらいの中で、この総合計画を含めた業務については、コンサルティング会社からの支援も受けておりますので、そのアンケートの集計の分析については注意しながら、これから具体化するというのが今の状況です。</p> <p>また、このアンケートは5,000人の無作為抽出で実施しますが、政策企画課では地方創生等の絡みで別途アンケートも考えておりますので、全体を通した中で、目的を達成するようなものを作り上げていきたいと考えてます。</p> <p>委員のご指摘はその通りだと思っております。それを今後の過程の中で具体化していきたいと考えております。</p> |
| 委員長 | <p>他に関連した質問はございませんでしょうか。なければ議事（3）に移らせていただきます。</p> <p>では本日の一番の議題であります議事（3）について事務局より説明お願いいたします。</p> |
| 政策企画課長 | <p>（資料3、参考資料、当日資料に基づき説明）</p> |

| | |
|--------|---|
| 委員長 | <p>次期総合計画における将来像を1つにするという方向について皆様からご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>1つ確認させてください。先程当日資料でこの総合計画の策定は10年間であり、地方版の総合戦略は1年ごとに評価を繰り返しながら5年間という枠組みがあります。そうすると当然10年間の計画と5年間の計画は重なってくるわけですが、5年終わったあとの地方版の総合戦略というのはどのようになっているかというのは今のところ分かっているのですか。</p> |
| 政策企画課長 | <p>地方版総合戦略は5年をもって作れることは明確になっておりますので、普通に考えれば5年をもって、その先の5年を作るという形になるかと思っております。</p> |
| 委員長 | <p>それでは将来像を1つにするという点について何かご意見ございませんでしょうか。まちづくり戦略と政策についてはまとめた方が分かりやすいのではという事務局の意見がありますが、まずは将来像についてご意見をいただきたいと思います。</p> |
| 副委員長 | <p>分かりやすく1つの将来像にするということですが、定めるためのキーワードは9つもあります。これをもし現行計画のように4つの将来像のように、短い標語的なものとして1つにまとめるならば、キーワードがすでに9つもあるので、とても1つの標語的なものにはならないと思います。分かりやすく1つという意欲はかいますが、9つもキーワードがあって、1つの将来像、もしそれが標語的であれば、まとめきれないのではないかと正直思います。いかがでしょうか。</p> |
| 委員長 | <p>やってみればいい、多少長くなってもよいのではないか。</p> |
| 副委員長 | <p>そうしますと、ここでの将来像というのは標語的なものというよりは理念を文章で書くというふうに理解すればいいでしょうか。</p> |
| 政策企画課長 | <p>私共のイメージでは、将来像は標語のような短い文章とは別に、考えや理念的な部分は、文章化していきたいと思っています。その中では当然キーワードは盛り込んでいきたいと、イメージしています。</p> |

| | |
|--------|--|
| 副委員長 | <p>標語的なものがまずあって、その下にこの9つのキーワードも出来るだけ盛り込みながら文章化したものを作る、このような将来像の構成になるといことによいでしょうか。</p> |
| 政策企画課長 | <p>そのとおりです。</p> |
| 委員 | <p>震災の後にできた現行計画のキャッチフレーズの「前より前へ！長岡」は、全部が凝縮されていて、とてもよいキャッチフレーズでしたので、やはりこういう感じのものを1つ作ってもらいたいと思います。「前より前へ！長岡」から繋がるような、次に繋がるようなキャッチフレーズを考えてほしいです。</p> |
| 委員 | <p>文章表現ということですが、私もこの計画作りに携わって、将来像をどこまで書き込むかというのは、実際に書いてみないと分からないと思います。今、委員がおっしゃいましたように、これだけのキーワードを全部網羅したようなキャッチフレーズは作れないと思います。そうするとキャッチフレーズはエッセンスだけ書いて、あとずっと説明文を書くということになるわけですが、そうすると将来像を1つに絞ったことに結果的になるのか、やってみなければ分からないと思います。</p> <p>それから2つを、今で言う戦略と政策をまとめた方が分かりやすいのではないかということですが、これも書きようでして、「米百俵人づくり戦略」、その次に教育の一層云々と説明しておりますが、これは要するに現状で言えば、前半部分が戦略で、後半部分が政策に該当する訳ですので、括弧のくくり方の問題だろうと思います。どちらが分かりやすいかは議論のあるところかと思いますが、将来像から政策まで一気に持っていくというのは難しいと思います。そうすると中間的な何か言葉が必要で、それが今戦略という形で載っているわけですが、そこをどうすっきりさせるかという問題かと思います。分かりやすさという点を狙うならば、今の事務局の提案も1つの方法だと思います。</p> |
| 委員 | <p>私もキャッチフレーズというのをこれだけのキーワードから1つにもっていくのは非常に難しいと思います。前に市政百周年で市民の声から、文章を作ったのが今の市歌「笑顔いきいき」になっているのですが、あれは5つくらいのキーワードだったので、文章がいくつかできてその中の1つが笑顔いきいき、人が繋がるということで集約化できたのですが、これだけ出てくると難しいです。</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>委員</p> | <p>そうするとこの「前より前へ！」だと非常に分かりやすい訳ですが、整合性がとれるのかなという思いがあります。私はまとめた方がよろしいかなと思います。</p> <p>評価をしたり施策の見直しをしたり、いろいろなところに目を配りながらやっていったときに、やはり将来像とか戦略とか政策とか施策の柱とかあまりにも何段にもなっていると市役所の中でそれに携わっている人はいいですが、これを外部に出したときにそれでなくてもよく理解できないのに、あまりにも何段にもなっているとどうなのでしょう。</p> <p>整理してできるのであれば、まとめていく方がいいのかは分かりませんが、何段かになっている段を減らした方がいいのではないかと思います。</p> |
| <p>副委員長</p> | <p>将来像を1つにする上で最後の確認ですが、「前より前へ！」のような端的な力強い印象的なキャッチフレーズは作った上で、それを補足するのか理念を文章にして、その文章には「誇り」から「前へ」までの9つのキーワードがありますけれど、そうしたものをできるだけ織り込みながら理念を非常に高らかに文章として書くところいう構成に将来像はするというところでよろしいのでしょうか。</p> |
| <p>市長政策室長</p> | <p>それでよいと思います。この資料3のA3の表のオレンジの「誇り」から「前へ」まで9つの項目があり、確かにこれを網羅するのはなかなか難しいと思います。ですが、これ自体も全部が必要かどうかもお議論いただきたいと思います。全部を網羅しなくても、みんなが見て、長岡らしいものが、キャッチフレーズあるいは理念で打ち出せればよいのではないかと考えております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>あまりマニアックに走らないでシンプルに、若者から見ても分かりやすいものがいいです。政策系に詳しい方、戦略系に詳しい方、いろいろな方がいらっしゃると思いますが、やはり1つになる方向性のエッセンスのきいた、パッと目に飛び込んでくるような力強い何かキャッチフレーズのようなものが、ここでまとめられればと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>4つの将来像を読ませていただいて、まとめたかどうかといろいろ考えて見ましたが、どうまとめたらよいか分かりません。けれど、「前より前へ！長岡～人が育ち地域が輝く～」は、とても素敵だと思います。資料3にある市の思いの「未来を担う子どもたちのために」、これもいいので、みんない</p> |

| | |
|--------|---|
| 委員 | <p>いように私は思います。どこをどういうふうにまとめて文章にしたら一番みんなが分かるというのが、自分でも分からない状態です。</p> <p>10年前に今の計画作りに参加したことを今思い出しているのですが、最終的にキャッチフレーズ、「前より前へ！」という言葉を作っていただいて、それを議論したときに、このキャッチフレーズを理解していただくのに確か4ヶ月ぐらいいろいろな人に話をしてまわった記憶があります。</p> <p>ちょうど合併の先が見え、地震の後、ということで、今思い起こせば、本当に短い言葉でその時を語ったのかという思いがあります。けれども、最終的に一番この言葉で悩んだのは、あるところに行って、がんばっているのに、おまえさん、まだこれより先がんばれって言うのかと、この表現から受け取ったという人がいらっしやいました。ああ、そういう見方をされたのかということで、この言葉の中にどういう思いを込めたのかというのを補足で作りました。短い言葉であればあるほど、共通の認識に持つていくための努力、説明の仕方等、いろいろなものがあるので将来像を1つにするというのは、理解はしますが、28万人の市民を1つの思いにするには事務局は苦勞すると思います。</p> <p>戦略と政策はまとめた方がいいかですが、今思い出して見ると、戦略と政策の部分はいろいろな同じようなものが表現的にもありますので、市民にとっては分かりやすさという意味では分かりやすいものを列挙した方がいいだろうという気はします。ただ、この8本がいいのかについては、もう少し検討が必要だと思います。市民に分かりやすいかという点では、まとめるのはベストだと思います。</p> |
| 政策企画課長 | <p>今日、私共は確固たる思いで1つというところではないため、実際次回以降、パターンをお示しする中でご意見いただきたいと思っております。次回、目に見えて、わかるような形で素案を示させていただきたいと思っております。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。まちづくり戦略と政策はまとめた方がいいという事務局の意見がありましたけれども、いかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>私は1つにまとめて、太字で書いてある方がポイントになり、その補足が右側にありますので、数についてはありますけれど、まとめるのはいいのではないかと思います。</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>私も先程ここに書いてあるものをじっくり見せていただきましたけれども、どれ1つ欠けてもいけない、大事なことがここに網羅されているので、できるだけそれを分かりやすく市民に伝えるためにも、まとめた方が分かりやすいのではないかと感じました。</p> <p>それから、キャッチフレーズですが、今の「前より前へ！長岡」というのは長岡市に関わる所で、あちこちでよく目にします。やはり総合計画の理想型がここにくると思います。それをまちづくり戦略、政策、施策の柱というふうに降りていくと考えると、その理想型にすぐには近づけないので大きなまちづくり戦略があり、政策があり、具体的な施策があると考えると、段階がいくつもありますので、市民の方に伝わりやすくするためには、理想型に直結したものを考えながら、まとめていただければと感じております。</p> |
| 委員 | <p>私もこれを見たときに、本当にここに網羅してあることはすばらしいことだと思いました。全て書いてあり、それを1つにまとめるのはどうやるのか全然想像もつきません。行政やいろいろな施策等に関心をもたなかった方が、これを見たときに、長岡市はどこに向かっていくのかということ具体的に、誰もが見ても分かるような文章であれば、もっと関心をもつのではないかと思います。</p> <p>これを見ていただいた方が何人かいますが、言っていることは全て分かるけれども、長岡は最終的に何をしたいのかと言われると、あれもやりたいこれもやりたいとなってしまう、でもそうじゃないよねというところで終わってしまいました。</p> |
| 委員 | <p>まちづくり戦略と政策について、まとめた方がいいかについては、私はまとめることに賛成です。</p> <p>それから資料3に挙がっている項目は、事前の意見が記載され、織り込まれています。また、地方創生の地方版総合戦略との絡みの中で、やはり重複しているものがが必要です。ばらばらではいけない訳ですから、そういう意味においても、資料3に挙げられる項目というのは非常にマッチしているのではないのでしょうか。地方版総合戦略につきましても项目的にはやはりかなり多岐に渡っているものですから、それと重複していることに関しては非常にコンパクトにまとめられているという評価です。</p> |
| 委員 | <p>現行の総合計画がどのようにして作られたか、前回関わった方からキャッチフレーズについて伺ったりして、本当に参考にさせていただきたいと思います。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>将来像から施策の柱までで同じような表現が何度も繰り返されていて、分かりやすい部分と同じような表現が繰り返されていて分かりにくくなっている部分があると思います。それに比較しますと、下に示された戦略と政策をここに8つにまとめていただきましたが非常に分かりやすいと思うので、やはりこの方向でいいと思います。</p> <p>またキャッチフレーズについては、戦略、政策あるいは将来像をこの会議で重ねて議論していく中で最終的にキャッチフレーズかなという気がしております。その将来像につきましてもここに挙げていただいたオレンジの9つの項目、非常に文章がコンパクトで分かりやすい。それこそ子どもが見ても、中学生が見ても、あるいは年配の方が見ても簡潔に分かりやすくまとめていただいたので、これをあえて1つとかいくつかの将来像にまとめていく必要があるか逆に疑問に思っております。簡潔で分かりやすく、というところに重きを置きたいと思います。</p> <p>戦略と政策に関しては、私もまとめた方が良く思っています。内容に関しては今8つ並んでいますが、これも将来像を元にきちんと咀嚼して、まとまるのか、増えたりするのかというところだと思います。まずは将来像ありきできちん戦略と政策をまとめていったらいいかと思えます。</p> <p>また将来像の話に少し戻してしまいますが、例えば他の市町村の将来像について調べていったときに、妙高市なのですけれども、その将来像が「人と自然にやさしい、ふれあい交流都市妙高」で、2014年の住みよさ満足度で県内1位というようなものがあり、とても分かりやすく具体的で、私は県外から来たのですが、見ただけでパッとイメージが湧きました。</p> <p>将来像の話をする中でキーワードを1つにまとめようという話になっているのですが、例えば、アンケートを取るという話もあったので9つで市民からアンケートで抽出できるようなロジックにして、なんとか抽出できないか。その中ではランキング3位なのか分からないですけれども、その3つでキャッチフレーズを考えてはどうか。何かもうちょっと具体的に更にこの9つから絞ってから考える方がよいのではと思いました。</p> |
| 委員 | <p>私はちょっと違う意見を言いますと、現行の4つのまちづくり戦略の中で、戦略4が、反映されていると思いますが、長岡市のこういう将来計画に関しては市を超えた範囲での表現があってもよいかと思えます。例えば、医療の分野で言えば、長岡市だけの問題で医療を語ることはまずありません。必ず二次医療圏、今現在の流れとしましては、もう既に二次医療圏という考え方をしておりますけれども、疾患ごとにその範囲を決めて、そうしないと</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>ついていけないというのが、医療の現場です。分野に限らず全て同じことが言えると思うので、例えば小千谷、見附、柏崎を含めてそういう市町村等の圏域を含めて、地域の中で長岡市の位置づけをどうしていくかということをやはり出していかなければ、長岡市のまちだけで運用していくことは、長岡市という大きな特例市としては、ちょっと小さいのではないかと思います。</p> <p>これからの問題ではやっぱり人口が減っている、その中でこの長岡地域が、どのようにその人口減を抑えていくかといった時に、やはり大学があって、若い人がいかにこの長岡に残る、職場の確保とか、そういうところは少し弱いのではないかと思います。</p> <p>後期計画の産業の部分の達成度という点でも遅れているという面と、それからここでいうと仕事創造戦略というところに関わってきますが、やはり、せっかく技科大、芸術それぞれの産業の大学があり、長岡だけじゃなく県外からも学生がいっぱいきている中で、長岡に残って仕事に活かせるようなそんな長岡になればと思っておりますので、その辺を考えていきたいと思いません。</p> |
| 委員 | <p>この資料を見たときに、色がついているので、大変目に入りやすく、分かりやすいです。こういうものは色を使ったり矢印を大きくしたり、見た目も大変大事です。ここに書いてあるものはすべて本当に教科書のように立派だなと思います。ですが、果たして小さな方から高齢者の方までが見たときに、あまりにもいろいろなものがいっぱい入ってしまうと、どれが大事でどれが大事ではないのかが分からなくなってくるので、私も最終的にはまとめた方が分かりやすいと思います。</p> <p>それにこういうものは、何でもそうなのですが、子どもの名前1つ決める時でもいろいろな名前が出てくるとどれにしていかわからなくなります。自分の経験でもそうなのですが、だから本当にいい意見というのは、会議を重ね削っていきながら、また言葉が出てくることもあります。</p> <p>こんなにたくさんの内容を抱える中で、これ全部を、もしこれが白黒の字であったら、読めるのかというのがあり、私はカラーでやっぱり助けられています。本当に事務局の方は大変だったと思いますが、今これだというのはなく、そういう意味でまた会議を重ねていく中で、削ったもの、または増やしたものを決めていくのでちょうどいいと思います。</p> |
| 委員 | <p>戦略と政策は私もまとめた方が分かりやすいと思います。戦略が4つあって、政策が序章を含め6つなのでどこどこがどう繋がるかというのが、下</p> |

委員

のようにまとめた方が誰が見ても分かりやすいと思います。

将来像を1つにするかどうかですが、現行計画のキャッチフレーズの「前より前へ！長岡」はやはり分かりやすいと思います。ここに出ている4つの将来像はとてもまじめな優等生みたいな感じで、活字で書いてあることは、きっと当たり前なことだという気がして読みません。でもこのキャッチフレーズ「前より前へ！」のように、その言葉を聞いたときに、こういう雰囲気なのかなっていう何か想像できるような将来像の言葉があるとしたら、1つにするのはいいのではないかなと思います。

今決めるのか、話し合いの中で決めていくのかは、何もなしで進めていくよりは、こういう長岡にしたいよねと、そこに向かっていくためにどんな戦略や政策を、と話を進めていく会議だと思っています。ある程度の将来像を定め、でも最終的にこの言葉で良かったと思えるような最終決定ができるといいと思っております。

キャッチフレーズを作るというのは、ほぼ皆さんのお考えにあることと思います。順序がどちらかというよりも、キャッチフレーズがあると、議論がずれたときに、キャッチフレーズやそういったものに戻れば、また話を戻しやすいので、この会議を含めても同じことが言えると思います。まず志す部分、それが動詞形でやるのか活字のインパクトのあるものでやるのか、わかりませんが、必要だと思います。

ただ10年というのは非常に長く、ここでみんなが悩んでいるのは、この10年をこの場所で果たして決めていいのか、変わるかもしれないところだと思います。

大変なのかもしれませんが、今回の我々が集められた中で、過去10年何があったかという、震災やいろいろなことがあったので、これから先も何があるか分からない、若者の思考も変わってくる、それを取り入れないわけにはいきません。

「前より前へ！」だったら動いています。常に動いているということは、10年前に決めたことで動いているのではなく、常にその時々で動いているというような、吸い上げ続ける、拾い上げ続けるということです。難しいことかもしれませんが、吸い上げ続けていくという仕組みの仕組み、そんなものを計画していく必要があります。今の長岡にいる大学の方や、20歳になった方等を対象としたアンケートをとる等、常にそういったようなものが、実施する上での主軸の1つに入れてもらえると、何かあったときに、ここで決めなきゃいけないことがあるといっても、決めずに、それは流動的に変化し続けていこうよと、議論の逃げ道の1つになるのではと思いました。

| | |
|------|--|
| 委員 | <p>私も全くそのとおりだなと思いましたが、「前より前へ！」というのは、全部の気持ちを総合した市民全員の気持ちというか、姿勢が本当に表れていると思います。この「前より前へ！」は、使い続けることはできないのでしょうか。これは別に変えなくてもいいのではないかと思います。ここで無くすのはもったいないと思います。</p> |
| 委員 | <p>先程言われた、吸い上げというか、皆さんの意見を聞きながら、というのは、非常に私も大切ななと思っております。</p> <p>その前にアンケートのところでもちょっとありましたが、20歳以上の方ではなく、高校生以上というができれば、満足度等がよりどうなのかなということを考えておりました。アンケート等先程のセンテンスですが、高校生以上もちょっと含めた形のゾーンの方がより意見に近いものが満足度から見えてくるのではないかと思います。以上です。</p> |
| 委員 | <p>実は、私が所属している会で、若い人も子育て中の人もお孫さんを見ている人もそういう人たちから出た1つの意見として、長岡が子育てをしやすいまちということを、どこかでぱっと見たときに分かるようにしてほしいという意見がでました。それはなぜかという、若い人が住みやすければ、それに伴って、企業を誘致することもあり、やはり子育てしやすいということは女性が働くことにも繋がります。実はご自分でご商売されている方は、女性の方に働いてもらいたいと思っても、保育園のときには、延長保育があるから6時でも7時でも預かっていただける、でも子どもが卒園して、学校にいったらそこまで預かってもらえるところがない。そうするとパートで働かなければいけない、そうすると企業としてはパートで働いていただくのもいいですが、1人の女性の持っている力を出し切ってもらうためには、やはり同じように正社員で働いてほしいという。そういう中で、やはりまち全体として、子育てのしやすい環境を作るという、パッと見たときに分かるような何かをしてほしいというのが、女性の立場として、働く者として、子育てをする者として、孫を見て自分も仕事をしている、そういう人たちの意見としてありましたので、ぜひ何かそういう、外から来た人が見たときに分かるような何かはここに含まれたらいいと思います。よろしくお願いします。</p> |
| 副委員長 | <p>ちょっと細かい事を言います。米百俵人づくり戦略というところで、実は米百俵の精神というのは、産業と人材を作っていくということも当然あると思います。1と3がだぶってしまう部分がありますが、3の創造と地域産</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>業の創出というのは、実は米百俵の精神の分野も当然あって、米百俵というのは、もっと幅広く深い言葉だと捉えた方がいいと思います。</p> <p>それから、まちと自然、自然の中のコンパクトシティ戦略とありますが、自然というものを単に人工的なものと自然という対比で言うのではなく、むしろそこで言っている自然というのは、里山や田園とか、あるいは人間の集落とかそうした故郷性、人間性が回復されるやすらぎ、そうした人間の暮らしの1つと考えるべきだと思っています。中心市街地、まちなかが非常に洗練されて素敵だということと、田園とか里山とか集落等、そうしたものが非常に故郷性の中で、人間性が回復され、やすらぎとそれが一緒にある長岡というのが私は強みだと思います。是非そういう概念として捉えていただきたいと思っています。</p> <p>2番の定住・交流・人口拡大戦略でここに交流と書かれていますが、これは非常に大切だと思います。今言った意味合いも絡めて、ぜひ中心市街地を含めた田園とか里山とかいった故郷が、これと一緒に交流して行って、お互い行ったり来たりする、そういう長岡のイメージが本当に大切だと思いますので、是非そうした考え方の元に柱立てを、内容においても残していくべきだと思います。</p> |
| 委員 | <p>ここに書かれてある戦略は、先程、カラー刷りになっていると非常に見やすいというご意見がありましたが、大事なことはこの作ったものを多くの市民の方に理解してもらうことです。例えば、この総合戦略や総合計画が本にするとかなり分厚くなっていて、それが小学校にも中学校にも分かりやすくするために、漫画バージョンを作って学校に配布する等、そういうようなやはり誰が見ても、おもしろい、こういうことがやられているのかというような、要は周知の仕方が重要ではないかなと思います。</p> |
| 委員長 | <p>他にないでしょうか。なければ、今回1本に絞るという結果にはなりませんでしたが、事務局の方でとりまとめてもらって、第4回策定委員会で検討していきます。</p> <p>続きまして（4）その他、事務局お願いします。</p> |
| 政策企画課長 | <p>特にございません。</p> |
| 委員 | <p>戻るようで申し訳ないのですが、政策評価のシートで言うのを忘れてまして、第2章生涯健やかにとこのところの今までの成果のところ、子育て応援する環境の整備は本当にいいんですが、保育士のいる公園てくてく、こう</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>委員長</p> | <p>いう中に保育士は配置されているのですか。子育ての駅をみなさん、合併地域も含めていろいろなところで作っているので、そういう中で、具体的に保育士のいる公園てくてくと、固有名詞とか使わなくてもいいと思います。なぜかという親御さんはいろいろな情報を見まして、いろいろなところに参加されていて、すごくいいですよっていう評価もいただいています。1つだけ固有名詞よりは、子ども応援でいいのかと思います。環境の整備はとってもいいことだと思いますので、言葉が見つかりませんが、そんなことも考慮していただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日予定した分はこれで終了でございます。</p> |
| <p>政策企画課長補佐</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>(第4回の開催日程を確認)</p> <p>本日は大変貴重なご意見のありがとうございました。これをもちまして、第3回の長岡市総合計画策定委員会を閉会したいと思います。ありがとうございました。</p> |